

聞傳叢書

兎坤六

止

				和書門
		八		
一	二	二	六	
九	二	六		
冊	架	函	號	類

庫文閣內				
一		八		和
二		二	六	書
三	一	六		
架	冊	號	類	

內閣文庫	
番號	和 826
冊數	11 (11)
函號	181 147

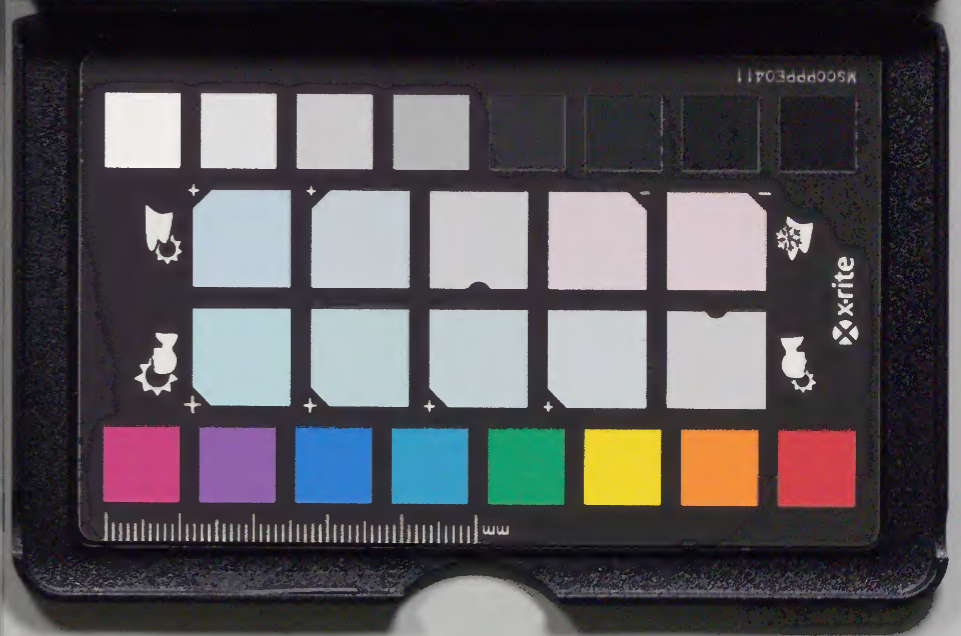


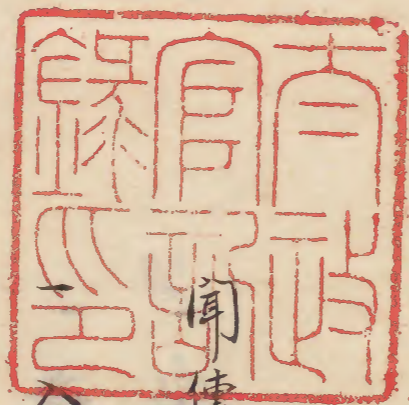
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





神祇傳叢書卷之十一

入宰日救之事

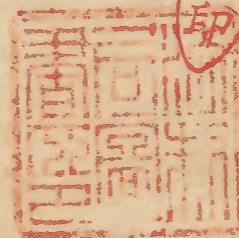
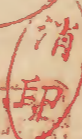
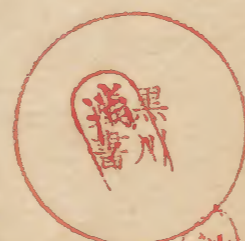
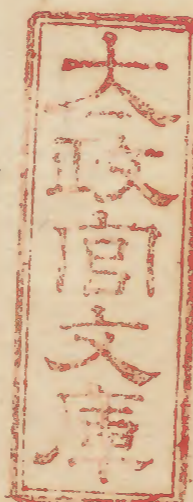
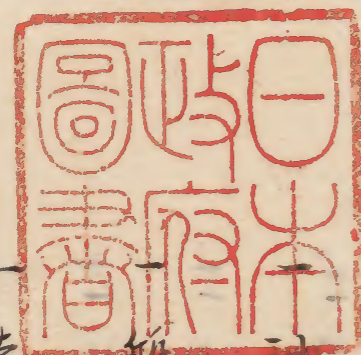
一 盜賊伊仕重之事

神祇傳叢書卷之十一

質地前条、候上敷之事

一 遠國之女、江戸所、おのり多

一 盜物多、江戸所、おのり多





- 一 伊三家伊三師匠人之事
- 一 惣堂主の判替いふ事
- 一 取換お事
- 一 駕籠の呼ぶ事
- 一 例死人建礼事
- 一 公事人欠落事
- 一 院号改事
- 一 神主より上書伝方事

- 一 出家社人法預事
- 一 常念の儀に火忍事
- 一 禱多非人百扱事
- 一 出家社人吟味中事
- 一 金銀借主陰文代事
- 一 産次替女新事
- 一 支取不仕他儀事
- 一 先住人入事

- 一 早書 法文意之字之徳事
- 一 少作 米金融方之事
- 一 相對 既くく考し 死骸百斗之事
- 一 名所 人尋寸之事
- 一 名所 田畑石斗之事
- 一 雙地 之所 一斗之事
- 一 少仕 金成金借金之事
- 一 運罪 之事

- 一 以仕 金中 考し 將之事
- 一 町人 百姓 將と 考し 高之事
- 一 流石 人方 片苗字 殿之事
- 一 惡事 以と 考し 帳外之事
- 一 以仕 金中 入 金雙地之事
- 一 離縁 以後 出金 以 考し 流方之事
- 一 流石 人方 侍相 名 百姓 考し 高之事
- 一 卷子 以 借金 融方 考し 高之事

- 盜賊と追討途中 三石捕り長五斗之事
- 川南へ初内訌哉い多し老少皆入之事
- 盜物買入老少皆入之事
- 尤納車之事
- 地味裏割儀令之事
- 地主分令主裁り出儀出入之事
- 離別願之事
- 餅云之事

- 死散川取之事
- 白状石取者少仁重之事
- 家質之事
- 捨使之事外取之事
- 早書石列之事
- 伊勢中怯方之事
- 追放追拂之事
- 訴状裏書之事

- 禪多小作停之事
- 切金取斗之事
- 盜賊一件居忘之事
- 移成く苗字元元との方取之事
- 金云事之事
- 御身下与社領元別之事
- 入墨之事
- 無名名之事

- 御身下地不立之事
- 盜賊吟味有之御下取合處丁年方之事
- 伊仕直着名取之事
- 宜船難破取吟味之事
- 岩徳質錢取近い事一其以仁堂高之事
- 祇法より的一件内跡之事
- 人殺以仕立之事
- 不義中を男と切害し一其取斗之事

百姓多々控重事

父を以て事と云ふ兼初を殺す事

控子いふ事と云ふ外事

言ひし者相と冠と並初事一件の事

斬罪事

牌不刃指自事

追拂を言ふ事

文を以て事と云ふ事

他所より事と云ふ事

苗字帯刀と云ふ事

桐對非と云ふ事

入舎と云ふ事

晒と云ふ事

云事出入事

御堂法務相事

岡付叢書卷之十一

一 入牢日教之事

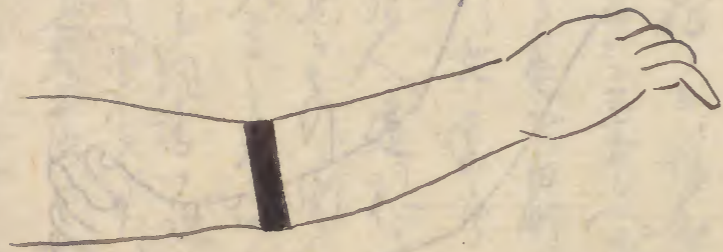
是の(一) 宣元一併にお方(二) 宣元(三) 宣元(四) 宣元(五) 宣元(六) 宣元(七) 宣元(八) 宣元(九) 宣元(十) 宣元(十一) 宣元(十二) 宣元(十三) 宣元(十四) 宣元(十五) 宣元(十六) 宣元(十七) 宣元(十八) 宣元(十九) 宣元(二十) 宣元(二十一) 宣元(二十二) 宣元(二十三) 宣元(二十四) 宣元(二十五) 宣元(二十六) 宣元(二十七) 宣元(二十八) 宣元(二十九) 宣元(三十) 宣元(三十一) 宣元(三十二) 宣元(三十三) 宣元(三十四) 宣元(三十五) 宣元(三十六) 宣元(三十七) 宣元(三十八) 宣元(三十九) 宣元(四十) 宣元(四十一) 宣元(四十二) 宣元(四十三) 宣元(四十四) 宣元(四十五) 宣元(四十六) 宣元(四十七) 宣元(四十八) 宣元(四十九) 宣元(五十) 宣元(五十一) 宣元(五十二) 宣元(五十三) 宣元(五十四) 宣元(五十五) 宣元(五十六) 宣元(五十七) 宣元(五十八) 宣元(五十九) 宣元(六十) 宣元(六十一) 宣元(六十二) 宣元(六十三) 宣元(六十四) 宣元(六十五) 宣元(六十六) 宣元(六十七) 宣元(六十八) 宣元(六十九) 宣元(七十) 宣元(七十一) 宣元(七十二) 宣元(七十三) 宣元(七十四) 宣元(七十五) 宣元(七十六) 宣元(七十七) 宣元(七十八) 宣元(七十九) 宣元(八十) 宣元(八十一) 宣元(八十二) 宣元(八十三) 宣元(八十四) 宣元(八十五) 宣元(八十六) 宣元(八十七) 宣元(八十八) 宣元(八十九) 宣元(九十) 宣元(九十一) 宣元(九十二) 宣元(九十三) 宣元(九十四) 宣元(九十五) 宣元(九十六) 宣元(九十七) 宣元(九十八) 宣元(九十九) 宣元(一百)

盗賊御仕事

是の(一) 宣元(二) 宣元(三) 宣元(四) 宣元(五) 宣元(六) 宣元(七) 宣元(八) 宣元(九) 宣元(十) 宣元(十一) 宣元(十二) 宣元(十三) 宣元(十四) 宣元(十五) 宣元(十六) 宣元(十七) 宣元(十八) 宣元(十九) 宣元(二十) 宣元(二十一) 宣元(二十二) 宣元(二十三) 宣元(二十四) 宣元(二十五) 宣元(二十六) 宣元(二十七) 宣元(二十八) 宣元(二十九) 宣元(三十) 宣元(三十一) 宣元(三十二) 宣元(三十三) 宣元(三十四) 宣元(三十五) 宣元(三十六) 宣元(三十七) 宣元(三十八) 宣元(三十九) 宣元(四十) 宣元(四十一) 宣元(四十二) 宣元(四十三) 宣元(四十四) 宣元(四十五) 宣元(四十六) 宣元(四十七) 宣元(四十八) 宣元(四十九) 宣元(五十) 宣元(五十一) 宣元(五十二) 宣元(五十三) 宣元(五十四) 宣元(五十五) 宣元(五十六) 宣元(五十七) 宣元(五十八) 宣元(五十九) 宣元(六十) 宣元(六十一) 宣元(六十二) 宣元(六十三) 宣元(六十四) 宣元(六十五) 宣元(六十六) 宣元(六十七) 宣元(六十八) 宣元(六十九) 宣元(七十) 宣元(七十一) 宣元(七十二) 宣元(七十三) 宣元(七十四) 宣元(七十五) 宣元(七十六) 宣元(七十七) 宣元(七十八) 宣元(七十九) 宣元(八十) 宣元(八十一) 宣元(八十二) 宣元(八十三) 宣元(八十四) 宣元(八十五) 宣元(八十六) 宣元(八十七) 宣元(八十八) 宣元(八十九) 宣元(九十) 宣元(九十一) 宣元(九十二) 宣元(九十三) 宣元(九十四) 宣元(九十五) 宣元(九十六) 宣元(九十七) 宣元(九十八) 宣元(九十九) 宣元(一百)

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the title '岡付叢書卷之十一' and the section header '入牢日教之事'.

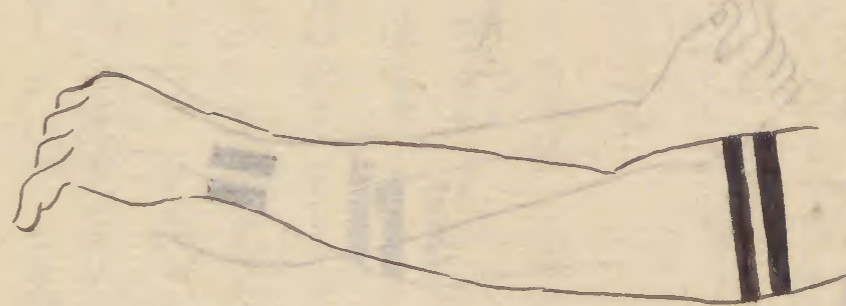
塚



肘より下 横に帯入

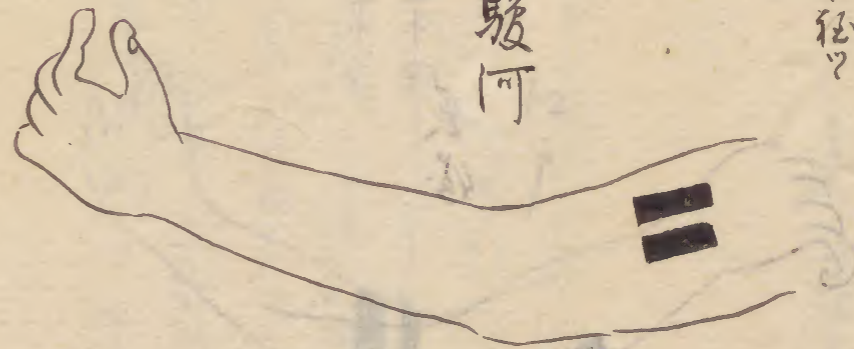
寛延四年四月十日 神代文行
山田伊予守 同 塚田 右 持 左 下 志

大坂

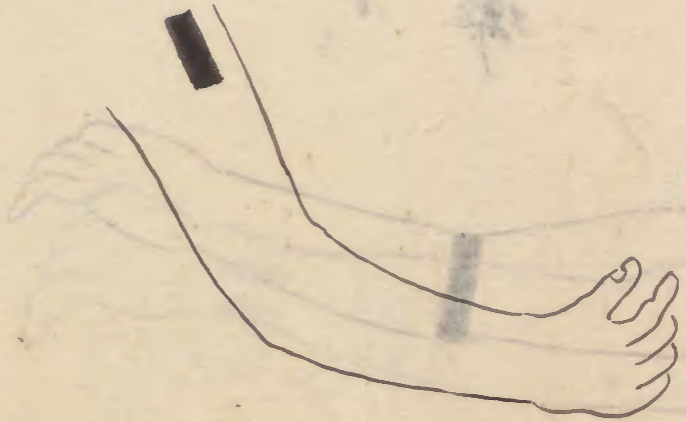


肘より下 縦に
二帯入

駿河



右新く入墨及中絶記書年



彈石也

右は腕肩足下三寸下ケ骨、入墨
長二寸半、幅二寸、

寛保三亥年八月言彈石右形と
ナリ、海邊に在り、右形、六捕、
入墨、一、入墨、二、入墨、三、入墨、上死
罪、亦、如、也

一 駕籠のりや、年人、年

是、三、年、人、病、守、り、の、形、也、
駕籠、上、白、削、入、墨、也、
御、名、也、也、年

一 例、死、人、建、礼、年

是、三、の、例、人、年、年、
全、三、の、例、人、年、
右、向、書、之、也、
及、中、也、

一 云、事、欠、居、年

是、三、の、事、人、年、
日、月、年、
亦、向、不、苦、年

一 院、号、改、り、
是、三、の、院、号、改、り、

あす武州高和向村修験三直院山号上人住持号西泉
とて修験尸部御方とて色斗あつて

行方り高和屋方とて

私伊代古本武州高和向村高和山修験三直院青
草及之般外上系修験山号白鳥とて屋号あけ年三直院之
修験方は人修方抄系修験号あけ年三直院之
号あけ年三直院之修験号あけ年三直院之
修験号あけ年三直院之修験号あけ年三直院之

安永

三直院武州高和向村高和山修験三直院青
草及之般外上系修験山号白鳥とて屋号あけ年三直院之
修験方は人修方抄系修験号あけ年三直院之
号あけ年三直院之修験号あけ年三直院之
修験号あけ年三直院之修験号あけ年三直院之

三直院武州高和向村高和山修験三直院青
草及之般外上系修験山号白鳥とて屋号あけ年三直院之
修験方は人修方抄系修験号あけ年三直院之
号あけ年三直院之修験号あけ年三直院之
修験号あけ年三直院之修験号あけ年三直院之

三直院行門号

修験方

去七月廿七号

伊代官

甲村院号
西直院号
三直院号

何と修験

三直院中人

神威修験不詳状事

是とて百姓屋敷内故とて高和地之とて三直院中人
神威修験不詳状事
三直院中人
神威修験不詳状事
三直院中人
神威修験不詳状事
三直院中人

左の如く交祀所等は之を太極の形に於て其の表裏とあり
 我々の寺法社法・物産と之事内なる者交祀所は此の如く
 遠く東へ向ふ中より出づるべき事無き事無き事無き事無き事
 宗の交祀所は此の如くありて其の表裏とありて其の表裏とあり
 宗の交祀所は此の如くありて其の表裏とありて其の表裏とあり
 宗の交祀所は此の如くありて其の表裏とありて其の表裏とあり

一 雙地寺事記・庚申年

是年十月年季に雙地寺に六ヶ所より宗賢入りにて其の
 十ヶ所を以て納納しし一ヶ所秋作納納し其の餘は
 寺斗指す年より九月よりいふ金銀地自十ヶ所より其の
 十ヶ所より其の金銀地十ヶ所納納し其の餘は其の地を
 之れより其の地より納納し其の金銀地十ヶ所納納し其の
 寺と誠心命とを以て納納し其の地を納納し其の地を
 但雙地寺年指す年と申すこと指すこと指すこと指すこと

文之魚斗の事

雙地寺年季の事あるは其の事ありて其の事ありて其の事あり
 上より金銀地十ヶ所納納し其の地を納納し其の地を納納し
 雙地寺の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり

遠國の女江戸等の事

是の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり
 其の事ありて其の事ありて其の事ありて其の事あり

連々との何方したる事と云ふ所の事は何と云ふも
一向におかす事と申す所は外に代りて代りて
と云ふ事と申す事と云ふ所の事と云ふ事と云ふ事
可
事

但たれど女は戸下縁と云ふ事と云ふ事と云ふ事
可
事

一 是れも多少の事と申す事と云ふ事

是れも多少の事と申す事と云ふ事と云ふ事
内に入事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
中及ぶ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
是れも多少の事と申す事と云ふ事と云ふ事
可
事

一 御之家御之御縁は人々と云ふ事

是れも多少の事と申す事と云ふ事と云ふ事
可
事

是れも多少の事と申す事と云ふ事と云ふ事
可
事

一 悪意との利害と云ふ事

是れも多少の事と申す事と云ふ事と云ふ事
可
事

除名より信託一より高言取下げあり然上二言ケル
取立し先利勢取立を以て内し九格の表立り
宗易、やまも道ありは就て宗も先利勢取立あり
取立ししは取立しは取立し七言信託し利勢取立
又言い除名し信託し後二言あ合至宗一死す
五格物し事

此は武州榛原郡岩村町百姓と申す申す申す申す申す
庶主申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
跡より近き如きと申す申す申す申す申す申す申す
不付申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
迎き申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
しし信託し申す申す申す申す申す申す申す申す申す
控申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す

一 神
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す

一 出家社人信託し事

是は出家社人信託し事申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す

一 宗宗傳し出火物し事

初了りて事奉るに下州利害と上州も不入入を解
此後西に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て村上人に力排合門内討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺

河村吉姓社に去るに多し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺
て是れより上州に討つ可し其後三に任事し之を以て西に首直伺

一 五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度

此六五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度

一 五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度

此六五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度

一 五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度

此六五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度
五州河内内 他州 志 新案 一 年 一 度

一 小比来金湯方之事

是或心成友之在何系五石中其以二十三日派海方十日午至
其山定方一石相何之北行下知自五石五五以上之味上
五石方一就事

一 相對死いけり志了死後長けし事

是男男女女一合五石中命了死後之志了行いけり志了不為吊
法いけり志了事

一 身居人身方之事

是身居人あり居り中身即村にけり志了味いけり志了
即いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了

一 身居人身方之事

是身居人あり居り中身即村にけり志了味いけり志了
即いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了

一 身居人身方之事

是身居人あり居り中身即村にけり志了味いけり志了
即いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了

一 身居人身方之事

是身居人あり居り中身即村にけり志了味いけり志了
即いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了

一 身居人身方之事

是身居人あり居り中身即村にけり志了味いけり志了
即いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了

一 身居人身方之事

是身居人あり居り中身即村にけり志了味いけり志了
即いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了
いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了いけり志了

台不四御(内社)地(地方)の事 河村(以上)の事
地(地方)の人(以上)の事 河村(以上)の事

一 地(地方)の事

此(地方)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事

一 河村(以上)の事

河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事

一 河村(以上)の事

河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事

一 河村(以上)の事

河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事

一 河村(以上)の事

河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事

一 河村(以上)の事

河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事
河村(以上)の事(以上)の事 河村(以上)の事

一 法政ノ方行高字版ノ事

是ノ所老字諸君代中代例中ノ一ニハ行高字ノ版付斗ニ
中例凡新譯定一ニテ万ハ行高字ノ版付斗ニ
大名凡八國主編リ法之ニ版付斗ニ支

一 吉川 尾高版ノ版付斗ニ毛利家之ニ例家老ノ版付斗
以テ其ノ中ノ版付斗ニ行高

公版ノ中ニ其ノ版付斗ニ家老ノ中ニ其ノ版付斗ニ右ノ版付斗
ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

一 此ノ中ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

是ノ中ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

一 行仕至ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

是ハ田畑ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
中定例ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
可成ルニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
人ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

但此地ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

一 版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

是ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗
其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗ニ其ノ版付斗

此の四知亦故文に「宗包初」とあり、世入書入るに「た」の字
字「海」の字「斗」漢語「海」の「斗」字「人」の「斗」字「清」の字
「斗」の字「海」の字「斗」の字「海」の字「斗」の字「海」の字
「斗」の字「海」の字「斗」の字「海」の字「斗」の字「海」の字
「斗」の字「海」の字「斗」の字「海」の字「斗」の字「海」の字

卷母老子と難縁事

此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、

老の子の事、人の事、姉、老父、老母、心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、

此の味法、五同、男、可、能、事

一 卷女と初事

此の老女と初事、此の老父、老母、心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、

一 卷息の事

此の老息の事、此の老父、老母、心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、

一 卷人の事

此の老人の事、此の老父、老母、心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、
初、此の老父又此後老母と心感、不叶、老子と難縁、

一 女房半 殺男と云ふ事 密通云々 怪事 山形
陽子月と 怪化云々 男と身付云々 掛ッ云々 怪事
二 五風代 怪事 密通云々 密通云々 怪事
三 女房 殺男と云ふ事 密通云々 怪事 山形

一 女房 殺男と云ふ事 密通云々 怪事 山形
先づ位で 國生 怪事 山形 密通云々 怪事
二 女房 殺男と云ふ事 密通云々 怪事 山形
三 女房 殺男と云ふ事 密通云々 怪事 山形

因人の 再 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形

此の 怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形
怪事 山形 密通云々 怪事 山形

此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり

一 先納金之事

先納金者なり山村に成る先納金者なり
先納金者なり山村に成る先納金者なり
先納金者なり山村に成る先納金者なり

一

先納金者なり山村に成る先納金者なり
先納金者なり山村に成る先納金者なり
先納金者なり山村に成る先納金者なり

他金主万、此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
他金主万、此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
他金主万、此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり

一

右の金主万、此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
右の金主万、此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
右の金主万、此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり

一 此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり

此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり
此の要るもの少くは高き成程の山村に成る先納金者なり

此ハ一郡定合疑方自以味多初分至性上之合名中
難用何種に至り刻合之難方其難方一其代以所状方
如多紀以味中有一山拾之疑方如 以方味多先其日
如初難代之若一官初合及定院各方一其難判死
方及難方一 若難方一 難判之難方一 難方一 難方一
如入之難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
用と費三三と 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
終難用方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
少波是下 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
不將上事と一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
若好心不 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
武人官一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一

但難判若一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
之物ホ一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一

一 佃屋之事

昔ハ江ノ左百姓農業一 佃屋屋世一 田舎少用一 権威
材及一 王姓一 夢一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
及 粮 糟一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
合 米 佃 屋 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
城 中 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
也 不 若 少 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
但 佃 屋 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
一 是 合 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
一 佃 屋 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一
右 一 通 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一

一 死體門之事

右一 通 一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一 難方一

此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林...

此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林...

此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林...

此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林... 此ハ字今ハ... 死後... 白林...

御書

一 伊勢院文書入... 今手借文... 伊勢院文書入... 今手借文... 伊勢院文書入... 今手借文...

一 檢使ノ御心ノ事

一 是ハ昔從死族... 御心ノ事... 是ハ昔從死族... 御心ノ事...

一 御心ノ事... 是ハ昔從死族... 御心ノ事...

一 御心ノ事... 是ハ昔從死族... 御心ノ事...

一 御心ノ事... 是ハ昔從死族... 御心ノ事...

一 行指中候方ノ御書

関門の門、開かず、通ぬ。門外、板敷、不及宿、行方、
中、不及、批、多、外、批、多、内、上、寒、寒、不
可用、多、多、夜、中、宿、日、白、赤、赤、病、氣、不
行、心、安、夜、中、不、苦、事、

一 通塞、門、之、至、至、内、之、内、之、内、之、内、之、内、之、
不、若、不、可、用、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、
一 事、

一 在、在、門、之、立、立、門、之、不、不、門、之、不、不、門、之、
不、不、門、之、不、不、門、之、不、不、門、之、不、不、門、之、
但、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、
一 代、代、代、代、代、代、代、代、代、代、代、代、代、代、
一 及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、

一 在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、
在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、在、
一 及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、及、
一 事、

評

有、有、有、有、有、有、有、有、有、有、有、有、有、有、

但、可、可、可、可、可、可、可、可、可、可、可、可、可、可、
一 事、

一 作、状、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、者、

一 是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、
一 事、

一 祥、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、多、

一 是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、
一 事、

安多村人丸山判官中書右丞相及子年石流
三斗之由事

一切金取之由事

此八箇中一人金公事他取合有ウリテ有之也此中
上三斗取方人位中上上取金取由事口人右之取動も不取
金主十斗取ウリテ互傳取之取合有之清取合有之取合有之
取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之
代金清取ウリテ取合有之取合有之取合有之取合有之
取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之

一 盜賊一件取之由事

此六羽田川邪大山村在右處七羽、這八箇中一人取合有之
取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之

羽田村山邪梅屋村
取合有之

右者及此取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之

貴位及之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之
取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之

同村

孫多傳

右者及此取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之
取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之

右者及此取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之
取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之

私取之由事
此八箇中一人取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之
取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之取合有之

上信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市寺社伝説列年

此の河津市に於ては古くより一統内、堂家伝説

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

入道と年

此の入道は信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

河津市に於ては信房の屋敷を造るに之を地元の商人に任せたり

口のたぬき... 右神... 空... 川...

一 花ヶ糸... 入字... 糸... 花... 入字... 糸... 花...

一 空... 花... 入字... 糸... 花... 入字... 糸... 花...

一 空... 花... 入字... 糸... 花... 入字... 糸... 花...

右市中央山中仙岩山脈を以て其の北界と爲す
中山の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す
山脈の北界と爲す山中の山々北界と爲す

右山脈の北界と爲す山中の山々北界と爲す
山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す
山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す

一 苗字等刀の老吟味之事

此ハ寛政三戊申上州佐川口正田年々利根川白武村
田院に入るといふ所は吟味江地也其代友方并大田君九
世の苗字は刀の何れ年々利根川白武村

一 新田方正田年々利根川白武村
其の吟味は去ホリ年々利根川白武村
山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す

山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す
山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す
山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す

一 吟味と拒口去ホリ年々利根川白武村
山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す
山中の山々北界と爲す山中の山々北界と爲す

寺社社人百姓並に後醍醐天皇の御代に
古傳に云ふに斗方子一丁あり

一 味更 一件有 社人斗方子一丁あり
斗方子斗方子二斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子

但中より諸月代斗方子若年考礼斗方子評定
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

斗方子

斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

但斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

一 傳金斗方子 斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子
斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子斗方子

成丈礼下り付金何一と九年一丁一と入るは是の二氏部
差金取て夫方より合夫方入字とてしるは是の
おのれは一はは差金と何と云ふ

ツク

此の成丈先十先方へ合入字と付金とてしるは

一 味事とて院社家之類に外五姓とて名取は是
少くとも何れも付金とてしるは是の二氏部
二 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
三 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
四 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
五 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
六 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
七 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
八 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
九 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
十 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是

二丁ツの六若差取の比あり一と一と八先と何のツク

ツク

此の社家一はは差金と何と云ふ一と一と八先と何のツク
おのれは一はは差金と何と云ふ

一 監成人數とて是のツクは是の二氏部
二 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
三 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
四 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
五 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
六 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
七 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
八 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
九 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是
十 成丈は合一と付一院の社家とて名取は是

一人是主人

且其目

丹国政制

在何方

中山

駿府

草津

三ヶ宿

中山

中板橋

三ヶ宿

洗馬

三ヶ宿

日光石中

千住

宇都宮

三ヶ宿

